



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 キング

コード番号 8118 URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門管掌 (氏名) 石井 修二

TEL 03-5434-7282

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,476	0.9	489	30.7	610	21.4	364	25.3
24年3月期第2四半期	6,419	△4.1	374	12.6	503	13.5	291	40.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 335百万円 (37.0%) 24年3月期第2四半期 244百万円 (67.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	17.16	—
24年3月期第2四半期	13.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,962	17,825	85.0
24年3月期	22,299	18,313	82.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 17,825百万円 24年3月期 18,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,920	1.9	880	5.2	1,160	4.9	610	0.8	29.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	24,771,561 株	24年3月期	24,771,561 株
25年3月期2Q	5,134,158 株	24年3月期	3,242,839 株
25年3月期2Q	21,258,511 株	24年3月期2Q	22,015,673 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等による回復の動きが一部に見られましたものの、欧州債務問題による世界的な景気減速懸念や円高の長期化、電力供給不足懸念や料金の値上げ等の社会的不安要因が消費者心理を冷え込ませ、先行き不透明な状況で推移いたしました。

ファッション業界におきましても、このような消費意欲の減退に加え、厳しい残暑による秋物衣料の販売不振等から非常に厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループは、「強いものづくり」という揺るがない基軸のもと、独自性・複雑性を徹底追求し、高品質・高品位の商品づくりに引き続き注力いたしました。

その結果、売上高は64億76百万円（前年同期比0.9%増加）、経常利益は6億10百万円（前年同期比21.4%増加）となり、四半期純利益は3億64百万円（前年同期比25.3%増加）となりました。

事業セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(アパレル事業)

アパレル事業におきましては、消費者からの更なる安心・信頼・満足を勝ち得るべく、高品質・高感度の強い商品を提供し続けるとともに、その商品にふさわしいショッブづくりと質の高い店頭基軸のビジネススタイル確立に注力いたしました。具体的にはフランチャイズショッブ戦略・複合ブランドショッブの開発を一層推進するとともに、店頭運営力向上に向けて「店頭活性化マニュアル」の徹底活用、店舗内装やVMDを中心としたショッブ演出力の感度アップ等により、商品とお客様が会える店頭をよりご満足いただけるよう注力いたしました。その結果、売上高は58億18百万円（前年同期比2.4%増加）、営業利益は4億92百万円（前年同期比29.3%増加）となりました。

(テキスタイル事業)

テキスタイル事業におきましては、「プリントのプロ集団」である企画提案型テキスタイルコンバーターとして、意匠力・提案力・対応力を強化するとともに、「ヴィンテージコレクション」（1800年から1980年までのヨーロッパ生地見本）を有効活用することにより創造性・独自性をアピールし、高感度・高品質商品の提案を推進いたしました。その結果、売上高は6億58百万円（前年同期比10.5%減少）、営業利益は18百万円（前年同期比23.7%減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は209億62百万円となり、前連結会計年度末比13億36百万円の減少となりました。

流動資産は95億95百万円となり、前連結会計年度末比15億48百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。また、固定資産は113億67百万円となり、前連結会計年度末比2億12百万円増加いたしました。これは主に、その他の投資の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は31億37百万円となり、前連結会計年度末比8億48百万円の減少となりました。

流動負債は23億12百万円となり、前連結会計年度末比8億20百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少及び賞与引当金の減少等によるものであります。また、固定負債は8億24百万円となり、前連結会計年度末比28百万円減少いたしました。これは主に、退職給付引当金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は178億25百万円となり、前連結会計年度末比4億87百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の増加及び自己株式の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、85.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、31百万円増加（前年同四半期は18百万円減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上とたな卸資産の増加、仕入債務の減少などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億82百万円減少（前年同四半期は99百万円減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億28百万円減少（前年同四半期は1億50百万円減少）となりました。これは主に、自己株式の取得及び配当金の支払による支出によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ、13億78百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末の残高は44億58百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成24年5月9日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,837	5,458
受取手形及び売掛金	1,786	1,526
商品	2,129	2,256
原材料及び貯蔵品	49	44
繰延税金資産	182	117
その他	225	250
貸倒引当金	△66	△59
流動資産合計	11,144	9,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,212	2,198
土地	3,558	3,558
その他（純額）	360	339
有形固定資産合計	6,131	6,096
無形固定資産	43	35
投資その他の資産		
投資有価証券	1,001	956
長期貸付金	16	14
繰延税金資産	160	167
投資不動産（純額）	2,486	2,471
差入保証金	771	778
その他	583	879
貸倒引当金	△39	△32
投資その他の資産合計	4,980	5,235
固定資産合計	11,155	11,367
資産合計	22,299	20,962

(株)キング(8118)平成25年3月期第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369	980
短期借入金	380	380
未払法人税等	334	175
賞与引当金	304	177
役員賞与引当金	22	12
返品調整引当金	5	3
その他	716	583
流動負債合計	3,133	2,312
固定負債		
長期借入金	50	50
退職給付引当金	295	273
資産除去債務	100	101
長期未払金	177	177
その他	229	222
固定負債合計	853	824
負債合計	3,986	3,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	8,642	8,770
自己株式	△863	△1,450
株主資本合計	18,251	17,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	31
その他の包括利益累計額合計	61	31
純資産合計	18,313	17,825
負債純資産合計	22,299	20,962

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,419	6,476
売上原価	2,914	2,836
売上総利益	3,505	3,640
販売費及び一般管理費	3,130	3,150
営業利益	374	489
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	18	19
受取地代家賃	130	186
貸倒引当金戻入額	10	9
その他	44	27
営業外収益合計	214	252
営業外費用		
支払利息	2	3
賃貸費用	82	80
自己株式取得費用	0	45
その他	1	2
営業外費用合計	85	131
経常利益	503	610
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除却損	5	9
投資有価証券売却損	3	—
特別損失合計	9	9
税金等調整前四半期純利益	496	602
法人税、住民税及び事業税	122	164
法人税等調整額	82	73
法人税等合計	204	237
少数株主損益調整前四半期純利益	291	364
四半期純利益	291	364
少数株主損益調整前四半期純利益	291	364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△29
その他の包括利益合計	△46	△29
四半期包括利益	244	335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244	335
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	496	602
減価償却費	249	259
その他の償却額	8	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△41	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△89	△126
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	△10
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	—	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10	△22
受取利息及び受取配当金	△29	△29
支払利息	2	3
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△1
固定資産除却損	5	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	3	—
売上債権の増減額 (△は増加)	56	263
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△380	△121
仕入債務の増減額 (△は減少)	△121	△389
その他	△28	△113
小計	114	315
利息及び配当金の受取額	28	30
利息の支払額	△1	△1
災害損失の支払額	△13	—
法人税等の支払額	△145	△311
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18	31
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	△1,500
定期預金の払戻による収入	1,070	1,200
有形固定資産の取得による支出	△166	△272
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△5	△3
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	8	—
貸付けによる支出	△3	△2
貸付金の回収による収入	6	5
差入保証金の差入による支出	△35	△29
差入保証金の回収による収入	30	20
その他	△4	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99	△582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△5	△5
自己株式の取得による支出	△13	△586
配当金の支払額	△132	△236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△150	△828
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△268	△1,378
現金及び現金同等物の期首残高	5,198	5,837
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,930	4,458

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,684	735	6,419	—	6,419
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	37	57	△57	—
計	5,703	773	6,477	△57	6,419
セグメント利益	380	24	405	△30	374

(注) 1. セグメント利益の調整額 △30百万円には、セグメント間取引消去 △1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △29百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,818	658	6,476	—	6,476
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	28	50	△50	—
計	5,840	686	6,526	△50	6,476
セグメント利益	492	18	511	△21	489

(注) 1. セグメント利益の調整額 △21百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △22百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年7月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式1,891,280株を取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が586百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,450百万円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。